

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

米国と欧州を合わせると世界の経済規模の4割を占める。米国およびEUやイギリスなどヨーロッパ経済の現状と今後について講義する。前半は、世界最大の経済規模を有する米国経済が世界経済において果たす役割、米国貿易摩擦、さらに後半は、EU経済圏の成立から今後の動向等を検討することにより、欧米経済の現状と課題及び世界経済の今後について講義する。

米国企業のJPモルガン・チェース、アライアンス・バーンスタイン、ブルームバーグなどでの実務経験に基づいて、米国および欧州経済統計の分析方法について具体的に講義する。

授業計画

第1回	イントロダクション
第2回	アメリカを見る視点
第3回	戦後の好況とアメリカの「ルール」
第4回	大不況とニューディール
第5回	第二次大戦と供給サイドの変化
第6回	ゆたかな社会の確立へ
第7回	「ニューフロンティア」とその後
第8回	規制「撤廃」とアメリカ経済
第9回	繁栄が続いた90年代
第10回	21世紀のアメリカ：ブッシュ大統領と9.11テロ
第11回	21世紀のアメリカ：住宅ローン危機と世界金融危機
第12回	21世紀のアメリカ：オバマ・トランプ・バイデン大統領
第13回	EUの市場統合の現状と課題
第14回	EUと米国IT企業（グーグル、アップル、アマゾン、フェイスブック）
第15回	米国および欧州経済統計の分析方法
第16回	期末試験

到達目標

- ・米国経済の現状および世界経済における米国の役割について理解し、課題について考察できる。
- ・EU経済システムについて理解し、課題について考えることができる。
- ・米国経済・欧州経済の課題について回答することができる。

履修上の注意

30分以上の遅刻は欠席とします。単位取得のため、小テストに10回以上、回答してください。10回以上、回答しない場合は期末試験が受験できません

予習・復習

テキストや自作ノートを用いながら講義の予習・復習をしてください。欧米の経済事情について講義するため、新聞などをよく読んでください。授業中、小テストに回答できなかった場合、復習として回答を認める。

評価方法

小テスト（40%）、期末試験（60%）。小テストはTEAMSで回答。

テキスト

- ・教科書名：アメリカ経済の歩み
- ・著者名：榊原胖夫・加藤一誠
- ・出版社名：文真堂
- ・出版年（ISBN）：2011年（ISBN978-4830947049）